

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 4 区分

【発行日】平成 18 年 12 月 21 日 (2006.12.21)

【公開番号】特開 2001-143439 (P2001-143439A)

【公開日】平成 13 年 5 月 25 日 (2001.5.25)

【出願番号】特願 平 11-323366

【国際特許分類】

G 1 1 B 27/00 (2006.01)

G 1 1 B 20/12 (2006.01)

H 0 4 N 5/92 (2006.01)

【F I】

G 1 1 B 27/00

G 1 1 B 20/12

H 0 4 N 5/92 H

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 11 月 7 日 (2006.11.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 映像音声データ（以下、A V データと呼ぶ）を記録媒体に記録する記録手段と、

前記記録手段が前記 A V データを記録している最中に、前記記録媒体に記録されているファイルを管理するファイル管理情報が壊れたかまたは失われた場合、前記 A V データのうちすでに前記記録媒体に記録済みである部分を再生することによって、前記 A V データのうち前記記録媒体にすでに記録済みである部分にアクセス出来るように前記ファイル管理情報を修復または生成するファイル修復手段とを備えたことを特徴とする記録装置。

【請求項 2】 前記記録手段は、前記 A V データを記録開始する時に、前記 A V データを記録する先頭の記録ブロックのアドレスを前記記録媒体に記録し、

前記 A V データを、前記記録媒体の連続する記録ブロックに記録し、

前記 A V データを前記記録媒体に記録している最中に、前記記録媒体に記録されているファイルを管理する前記ファイル管理情報が壊れたかまたは失われた場合、前記ファイル修復手段は、前記先頭の記録ブロックのアドレスをもとに、前記すでに記録済みである部分を再生し、不連続点を見つけて、前記ファイル管理情報を修復または生成することを特徴とする請求項 1 記載の記録装置。

【請求項 3】 前記記録手段は、前記 A V データを、前記記録媒体の連続していない記録ブロックに記録し、

前記 A V データを前記記録媒体に記録している最中に、前記記録媒体に記録されているファイルを管理する前記ファイル管理情報が壊れたかまたは失われた場合、前記ファイル修復手段は、前記記録媒体に記録されている古いファイル管理情報を利用し、前記記録済みである部分を再生し、不連続点を見つけて、前記ファイル管理情報を修復または生成することを特徴とする請求項 1 記載の記録装置。

【請求項 4】 前記記録媒体の記録ブロックに前記 A V データを書き込む際、どの記録ブロックから書き込んでいくかの順番に関する規則が予め決まっており、

前記ファイル修復手段は、前記規則を利用して前記記録済みである部分を再生することを特徴とする請求項 3 記載の記録装置。

【請求項５】 前記ＡＶデータは、ＭＰＥＧに準拠しており、
前記不連続点とは、ＰＣＲ（Ｐｒｏｇｒａｍ Ｃｌｏｃｋ Ｒｅｆｅｒｅｎｃｅ）の値が不連続になっている所であることを特徴とする請求項２～４のいずれかに記載の記録装置。

【請求項６】 前記ＡＶデータは、ＭＰＥＧに準拠しており、
前記不連続点とは、ＰＩＤ（Ｐａｃｋｅｔ Ｉｄｅｎｔｉｆｉｃａｔｉｏｎ）が不連続になっている所であることを特徴とする請求項２～４のいずれかに記載の記録装置。

【請求項７】 前記記録媒体はハードディスクであることを特徴とする請求項１～６のいずれかに記載の記録装置。

【請求項８】 請求項１記載の記録装置の、前記記録手段が前記ＡＶデータを記録している最中に、前記記録媒体に記録されているファイルを管理するファイル管理情報が壊れたかまたは失われた場合、前記ＡＶデータのうちすでに前記記録媒体に記録済みである部分を再生することによって、前記ＡＶデータのうち前記記録媒体にすでに記録済みである部分にアクセス出来るように前記ファイル管理情報を修復または生成するファイル修復手段としてコンピュータを機能させるためのプログラムを記録したプログラム記録媒体であって、コンピュータにより処理可能なことを特徴とするプログラム記録媒体。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１４

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１４】

【課題を解決するための手段】

上述した課題を解決するために、第１の本発明（請求項１に対応）は、映像音声データ（以下、ＡＶデータと呼ぶ）を記録媒体に記録する記録手段と、

前記記録手段が前記ＡＶデータを記録している最中に、前記記録媒体に記録されているファイルを管理するファイル管理情報が壊れたかまたは失われた場合、前記ＡＶデータのうちすでに前記記録媒体に記録済みである部分を再生することによって、前記ＡＶデータのうち前記記録媒体にすでに記録済みである部分にアクセス出来るように前記ファイル管理情報を修復または生成するファイル修復手段とを備えたことを特徴とする記録装置である。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００２１

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００２１】

また、第８の本発明（請求項８に対応）は、請求項１記載の記録装置の、前記記録手段が前記ＡＶデータを記録している最中に、前記記録媒体に記録されているファイルを管理するファイル管理情報が壊れたかまたは失われた場合、前記ＡＶデータのうちすでに前記記録媒体に記録済みである部分を再生することによって、前記ＡＶデータのうち前記記録媒体にすでに記録済みである部分にアクセス出来るように前記ファイル管理情報を修復または生成するファイル修復手段としてコンピュータを機能させるためのプログラムを記録したプログラム記録媒体であって、コンピュータにより処理可能なことを特徴とするプログラム記録媒体である。